

福祉団体ひまわりの会

会長 北澤 豊さん  
きたざわ ゆたか



〈写真右〉札幌市立北九条小学校のミニ児童会館では、ひまわりの会スタッフが昔の遊びを子どもたちに教えるイベントも開催。左から2人目が北澤さん。〈同左〉北澤さんの周りには、一緒に遊びたい子どもたちがたくさん集まります。

●福祉団体ひまわりの会  
TEL.011-726-5285  
(鉄西まちづくりセンター)

「おはじきやメンコ、ビー玉などを使って、子どもたちと一緒に遊んで遊んで。やり方を教えてあげると、ものすごく興味を持ってくれて、本当に楽しんでます」。

そう語るのは、鉄西地区で生まれ育ち、地域の「生き字引」的存在として知られている北澤さん。児童館を訪問し、地域の子どもたちに懐かしい遊びを教えたり、学校の周りのごみ拾いをしたり、高齢者と子どもたちとの触れ合いの時間を育んでいます。「マンションが建ち並んだ今では考えられないけれど、昔、この辺りは長屋が多くてね。ご近所付き合いもあって、みんなが顔見知り。そんな時代には戻れないけれど、地域にたくさん知り合いがいて、気軽にあいさつし合えるような雰囲気のままにはやっぱりいいよね」。世代を超えてつながる「和(輪)」がまちの活力になる。それが北澤さんの揺るぎない信念です。

新川さくら並木連合町内会・地区社会福祉協議会など

会長 佐久間 五十也さん  
さくま いそや



〈写真右〉2022年10月、新川まちづくりセンター自主運営の開所式での1枚。中央が佐久間さん。〈同左〉さくら並木沿いを町内会ごとに決められたスタート地点から新川サイロ公園まで歩く新川さくらフェスティバル「ウォーキング大会」。

●新川さくら並木連合町内会  
TEL.011-762-2604  
(新川まちづくりセンター)

単位町内会、連合町内会、地区社会福祉協議会、地区緑化推進協議会などの会長職を務め、防災・防犯に関わる活動を中心に、地域の安心・安全な暮らしを守るために尽力している佐久間さん。「年末には火の用心のちようちゃんを持って、みんなの先頭を歩いて声を出したり、年金支給日には銀行で防犯パトロールをしたり……。もう長年やっているけど、体力的には大変だよ」と言います。それでもこうした活動を続ける中で「体を大切にね」「いつもありがとう」という、まちの人の声に励まされることも多いのだとか。

今すべきは、次の世代に自身の役割を引き継いでいくこと。「子育て世代が親子で活動に参加してくれたりして、少しずつ広がりを感じています」。よく笑い、とにかく前向きでパワフルな佐久間さん。タスキをつなぐ日まで、まだまだ走り続けます。